

令和3年度第1回 秋田県 地域年金事業運営調整会議

令和3年 7 月



日本年金機構

Japan Pension Service

秋田年金事務所
(秋田県代表年金事務所)

はじめに

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、対面による事業や会議・研修等を原則中止としておりました。

現在も新型コロナウイルス感染症が収束していないことから、令和3年度においても、原則、令和2年度と同様の取扱いとし、事業を進めるにあたっては、引き続き「日本年金機構における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づく取組みとなるよう十分に注意をして行っております。

また、日本年金機構では「オンラインビジネスモデル実現の推進」を重点取組施策と位置づけており、地域年金展開事業についても、年金セミナー・年金制度説明会・年金委員研修等のオンライン開催等、対面型から非対面型による取組みへの移行を更に進めているものであります。

1．地域年金展開事業の概要

P3

2．令和2年度の各事業の主な取組み結果と令和3年度の方針

P5

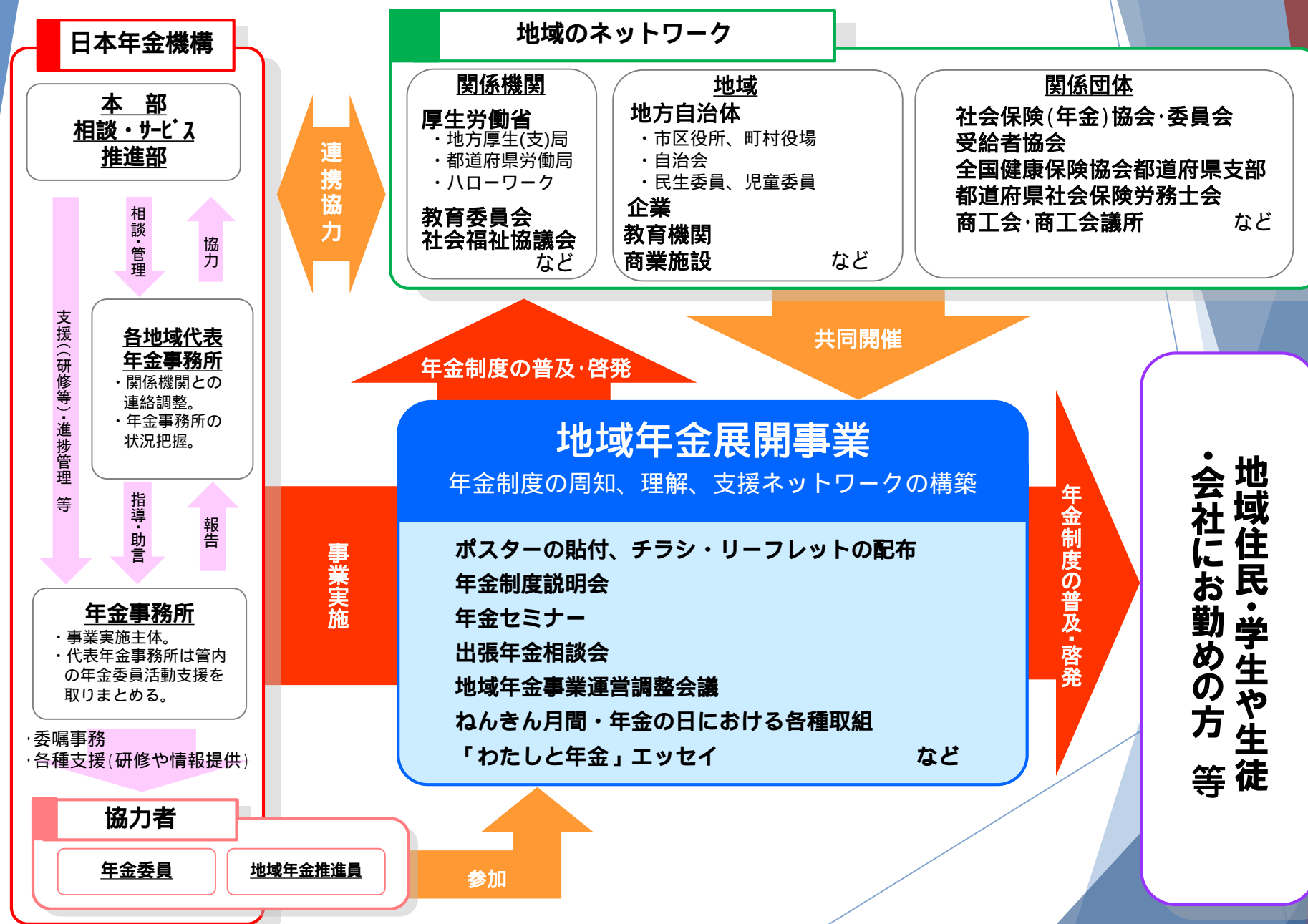
3．前回の会議で出た意見及び課題への対応

P14

4．令和3年度新規取組み事業について

P22

1. 地域年金展開事業の概要 (1/2)



1. 地域年金展開事業の概要 (2/2)

地域年金展開事業の主な取組み

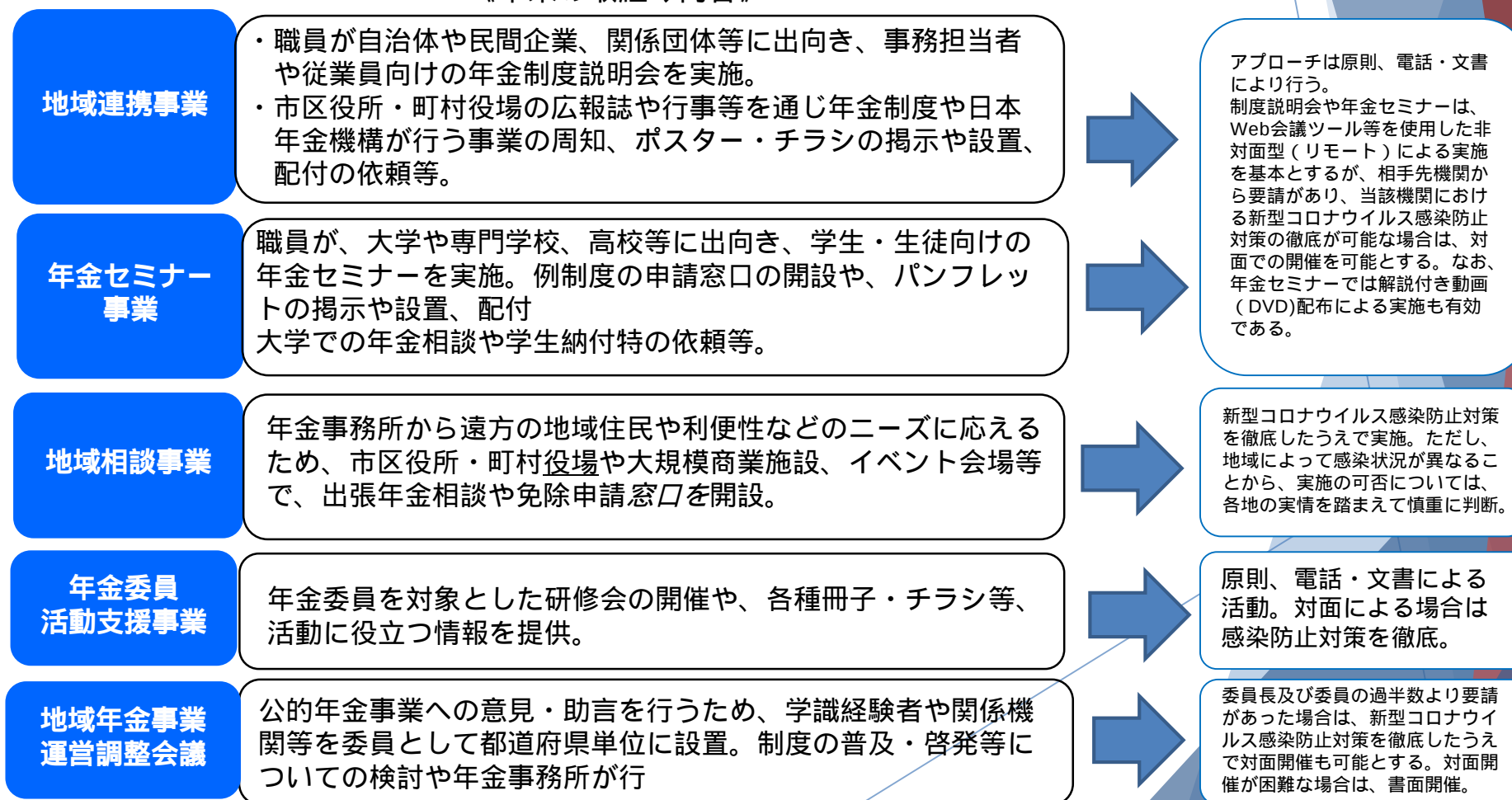
公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。

また、日本年金機構が取組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染防止に配慮した取組みを実施しています。

《本来の取組み内容》

《コロナ禍での取組み内容》



2. 令和2年度の各事業の主な取組み結果と令和3年度の方針

1. 地域連携事業について

事業名	実施した事項	振り返り	今後の方針
地域連携事業	・ 電子申請促進に向けた取組み 秋田県社会保険労務士会の電子申請委員会と協力し、事業主の行政手続きの負担を大幅に軽減する電子申請促進に向け、連携して取組めるスキームにつき協議を重ねる。 同会中央支部において、会員である社会保険労務士及び年金事務所職員を対象に、電子申請に係る勉強会を実施。  中央支部電子申請実務学習会の様子	事業所の入力担当の方が初めて電子申請を行うシチュエーションを想定し、勉強会の進行を行った。 その為、実際の入力作業において解りにくい点や間違いやすい点が浮き彫りになり、質問が多数飛び交っていた。 また年金事務所職員については、入力する事業所担当者の目線で学習ができ、今後の事業所からの問い合わせに対する回答時の経験として、大変参考となる勉強会であった。	引き続き秋田県社会保険労務士会電子申請委員会との連携を進めていく。 また、電子申請義務化事業所及び被保険者数51名以上の事業所（重点利用勧奨対象事業所）のうち、電子申請が進んでいない事業所について、職域型年金委員を通じて、事業主に対する電子申請による届出の協力を依頼する。

2 . 令和2年度の各事業の主な取組み結果と令和3年度の方針

事業名	実施した事項	振り返り	今後の方針
地域連携事業	・ 電子申請促進に向けた取組み 一般財団法人秋田県社会保険協会の広報誌「社会保険あきた」において、申請データの作成及び申請方法等につき広報を実施。 また、秋田地区社会保険委員会主催で電子申請をテーマに研修会を実施。 秋田商工会議所の広報誌「あきた商工会議所報」に『日本年金機構 電子申請』及び『GビズID』ホームページのご案内を掲載。 能代商工会議所、大館商工会議所、かづの商工会、北秋田市商工会の窓口に電子申請促進のリーフレットを設置。 鷹巣地区社会保険委員会能代山本支部において、電子申請・ねんきんネット等について研修会を実施。	電子申請方法に関する問い合わせが日々増加しており、電子申請をテーマに行われた秋田地区社会保険委員会の研修会では、定員を上回る参加希望があるなど、電子申請について事業所の関心の高さが感じられる。	引き続き関係団体のご協力の下、広報誌でのアナウンスを継続していく。 また各種年金制度説明会・研修会においては、電子申請をテーマにした取組みを繰り返し粘り強く行っていく。 電子申請についての問い合わせがあった事業所から、年金事務所職員の出張による説明を希望の場合は、可能な限り対応する。

2. 令和2年度の各事業の主な取り組み結果と令和3年度の方針

事業名	実施した事項	振り返り	今後の方針
地域連携事業	・地域FM局等と連携した年金制度広報活動の実施 ABS秋田放送、NHK秋田放送局、エフエム秋田、エフエム樺台、秋田コミュニティ放送、横手かまくらFM、FMはなび、FMゆうとぴあ、鹿角きりたんぼFM、ラジオ大館、由利本荘市CATV 以上11局において、新型コロナウイルス感染症の影響により、所得が減少した方を対象とした、国民年金保険料の臨時特例免除制度の広報を実施。  エフエム樺台での放送の様子	放送の依頼内容が新型コロナウイルス感染症関連の情報であったこともあり、各局とも無料での放送にご協力をいただいた。局によっては、毎日放送してくださる局もあり、他の広報手段とともに、令和3年度においても「国民年金保険料の臨時特例免除制度」の周知に大きく貢献いただいている。	引き続き、左記各局に対し広報の協力依頼を継続していく。

2. 令和2年度の各事業の主な取組み結果と令和3年度の方針

事業名	実施した事項	振り返り	今後の方針
地域連携事業	・ 対面式各種研修会 市町村国民年金新任担当者研修会 (参加者) 7/30 鷹巣年金事務所管轄 18名 8/7 秋田年金事務所管轄 6名 8/21 秋田年金事務所管轄 9名 一般財団法人秋田県社会保険協会主催社会保険事務説明会に講師として参加(各地区1回実施) (参加者) 2/12 秋田年金事務所参加 55名 2/16 大曲年金事務所参加 11名 2/24 本荘年金事務所参加 12名 3/4 鷹巣年金事務所参加 16名 秋田県年金受給者協会主催年金福祉講座に講師として参加 (参加者) 10/30 鷹巣年金事務所参加 100名 11/12 大曲年金事務所参加 27名 11/19 秋田年金事務所参加 29名	市町村国民年金新任担当者研修会については、新型コロナウイルス感染症の影響で4事務所中2事務所が実施できず、開催時期も毎年5月実施の研修会が7月及び8月以降にずれ込んだ。 また、一般財団法人秋田県社会保険協会主催の研修会については、毎年上半期1回・下半期1回行っていたが、令和2年度においては下半期のみの開催であった。	対面式開催については、日本年金機構における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに沿い、対策を万全に実施し取り組んでいく。

2. 令和2年度の各事業の主な取組み結果と令和3年度の方針

2. 年金セミナー事業について

事業名	実施した事項	振り返り	今後の方針
年金セミナー事業	・ 非対面（リモート及びDVD視聴）開催 秋田年金事務所 5校 鷹巣年金事務所 2校 大曲年金事務所 5校 本荘年金事務所 0校 合計 12校  秋田大学にてリモート開催の様子	アンケート結果の集計から、通常の対面開催と同様な回答（セミナー受講前よりセミナー受講後の方が、公的年金制度への理解・関心が高まった等）となり、コロナ禍が収束しない現状においては、積極的に取入れるべきと考える。 コロナ禍ではあるものの、対面式の開催を希望する教育機関も少なくない。（1回あたりの参加人数を少人数にするなど工夫し実施）	令和3年度においては、全国の年金事務所にWEB会議ツールを導入予定である。 開催側である年金事務所がリモート環境を整えることにより、非対面での年金セミナーの推進を更に加速させていく。

2. 令和2年度の各事業の主な取組み結果と令和3年度の方針

事業名	実施した事項	振り返り	今後の方針
年金セミナー事業	・ 対面式開催 秋田年金事務所 7校 14回 鷹巣年金事務所 7校 7回 大曲年金事務所 5校 6回 本荘年金事務所 1校 1回 合計 20校 28回 ・ 令和2年度対面式及び非対面式合計 秋田年金事務所 12校 鷹巣年金事務所 9校 大曲年金事務所 10校 本荘年金事務所 1校 合計 32校 (令和元年度37校)  専門学校にて対面式開催の様子	コロナ禍において、前年度より開催校数は減ったものの、急激な減少は抑えられた。下半期から開催スタイルに、リモート開催やDVD視聴開催のような非対面方式を積極的に取入れたことが要因と考えられる。	対面式の開催を希望する教育機関に対しては、可能な限り希望に沿った開催を行っていく。その際は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて行う。 また、非対面のリモート開催については、コロナ禍後も見据え、対面式開催、DVD視聴開催と合わせ、開催方法の選択肢を増やすことと捉え、その取組みを進めいく。

2. 令和2年度の各事業の主な取り組み結果と令和3年度の方針

3. 地域相談事業について

事業名	実施した事項	振り返り	今後の方針
地域相談事業	・市町村及び商工会・商工会議所における出張年金相談事業 新型コロナウイルス感染症対策として、4月度においては全県で出張年金相談を一時中断したものの、5月からは通常通り県下6カ所の出張相談所で相談業務を開始。 ・ハローワーク主催雇用保険制度説明会参加による、国民年金保険制度説明会の実施 ハローワーク本荘を除く全県のハローワークにて、新型コロナウイルス感染症対策により中断中。	出張年金相談については、予約相談が定着し、出張相談所の混雑による密の状態が起こらないこともあり、慎重に感染症対策を実施しながら、5月から通常通りの相談業務を行った。 ハローワークで開催する説明会への参加は、新型コロナウイルス感染症対策により参加できなかったが、職員が事業所に出向き、できる限り短い時間で制度説明を行う『アシストハローワーク』については、県内年金事務所においては、要請があった事業所全てに対応できた。	出張相談所での相談業務は通常通り実施可能だが、令和3年度においても、ハローワークでの説明会参加はいまだできていない。新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、アシストハローワーク等、できる限りの対応を行っていく。

2. 令和2年度の各事業の主な取組み結果と令和3年度の方針

4. 年金委員活動支援事業について

事業名	実施した事項	振り返り	今後の方針
年金委員活動 支援事業	R2.6月 地域型年金委員活動の手引き送付 地域型年金委員広報誌 「支えあい」第19号の送付 R2.9月 秋田県社会保険労務士会へ地域型年金委員委嘱拡大にかかる協力依頼 R2.10月 地域型年金委員広報誌 「支えあい」第20号の送付 秋田県福祉保健部へ地域型年金委員委嘱拡大にかかる協力依頼 「ねんきん月間・年金の日」の活動周知に関する依頼 R2.11月 全国年金委員研修会 日本年金機構アニュアルレポート2019の配布 職域型年金委員活動の手引き送付 R2.12月 職域型年金委員へ電子申請による届出についての協力依頼 R3.1月 職域型年金委員つうしんの送付 R3.2月 年金手続きにおける押印省略の取扱いについての周知 地域型年金委員広報誌 「支えあい」第21号の送付 R3.3月 健康保険委員委嘱事業所への職域型年金委員委嘱勧奨	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、対面となる研修会・会議等ができず、郵送による各種送付物の配付に終始した。委員の皆様からは、状況をご理解いただき、できることが限られた取組みではあったが、最大限のご協力をいただいた。	今年度もコロナ禍の状況であり、昨年度と大きく変わらないが、新型コロナウイルス感染症への防止対策を徹底し、可能な限りの支援を実施していく。また本部主導にはなるが、非対面による研修会・情報提供等（ホームページ等のバージョンアップ・WEB会議ツールの導入等）の支援に向け、環境の整備を進める。

2. 令和2年度の各事業の主な取り組み結果と令和3年度の方針

5. 令和3年7月1日時点での地域年金事業運営調整会議構成委員一覧

事業名			
地域年金事業 運営調整会議		みやざわ まさひろ	
		宮澤 昌浩	厚生労働省東北厚生局
			年金管理課長
		さとう すすむ	
		佐藤 進	秋田県高等学校長協会
			秋田市立御所野学院高等学校長
		さとう ひさと	
		佐藤 久富	秋田市市民生活部
			国保年金課長
		かとう たかし	
		加藤 尊	全国健康保険協会秋田支部
			支部長
		かまた かずひさ	
		鎌田 一寿	一般財団法人秋田県社会保険協会
			専務理事
		こばやし せいこ	
		小林 斉子	秋田県社会保険委員会連合会
			副会長
		たかはし よしひろ	
		高橋 由博	秋田県社会保険労務士会
			事務局長
(委員長)		あわじ たかや	
		淡路 孝也	秋田県地域型年金委員会
			会長
		かまだ りょう	
		鎌田 亮	株式会社秋田魁新報社
			統合編集本部整理部長代理
		おおこし きんや	
		大越 欽也	秋田県教育庁
			高校教育課指導主事
		ふじもと つよし	
		藤本 剛	学校法人ノースアジア大学
			経済学部教授
		いしかわ おさむ	
		石川 修	秋田県健康福祉部
			福祉政策課長
		さとう たろう	
		佐藤 太郎	秋田商工会議所
			総務企画部総務課長
		わたなべ けんいち	
		渡邊 健一	秋田県年金受給者協会
			事務局長
		いちい ひとし	
		市井 仁	秋田県商工会連合会
			総務企画部総務・人材育成課長

3. 前回の会議で出た意見及び課題への対応

1. 各事業の意見・課題事項と対応状況

事業名	委員所属団体	ご意見・ご提案事項	対応状況
年金セミナー事業	秋田県 高等学校長協会	DVDを使用することで感染予防もできる。使用に際し、担当者が事前の打合せでどういう点に注意して視聴させるかの確認をすることで、生徒や職員への浸透度が違ってくるのではないかと考える。	DVDの内容構成について、詳しくご説明しながら、20歳時点での手続き等を中心にご案内しております。
	秋田県社会保険 委員会連合会	コロナ禍においてもオンラインやDVDを活用しての年金セミナーを開催できたことは良かった。 またこのような形の方が教育機関では受け入れやすく、講師不足も補えるのではないかと考える。	令和3年度もコロナ禍においてのメリットを伝えつつ非対面開催のアプローチを積極的に行っております。
	秋田県地域型 年金委員会	アフターコロナの時代に対応した手法で評価したい。	ご意見ありがとうございます。
	秋田県教育庁	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、対面型の事業は中止せざるを得ない状況の中で、秋田高校の1学年8クラスを1クラスずつ計8回、年金セミナーを実施予定とのこと、県教育委員会として大変ありがたいと思う。 非対面型として、年金セミナー用DVDで各校に提供する新たな取組をされていることに感謝申し上げる。	ご意見ありがとうございます。

3. 前回の会議で出た意見及び課題への対応

事業名	委員所属団体	ご意見・ご提案事項	対応状況
年金委員 活動支援事業	秋田県社会保険 委員会連合会	「職域型年金委員活動の手引き」の作成や「職域型年金委員つうしん」の発行は、コロナ禍で研修会や説明会が開催できない中、委員にとって大変参考になるものとなった。是非、長期発行をお願いしたい。	今後も継続した情報提供の充実に努めてまいります。
	秋田県地域型 年金委員会	全国年金委員研修会について リモートでの研修会にオブザーバー参加した。 ・研修の開始時刻は13時30分がよい ・理事長のあいさつで事業詳細は不要 ・研修スタイルは講師の原稿読み上げのみで、 一体感がなかった。 全国の受研者の感想を整理して令和3年度の研修に反映していただきたい。	同意見につきましては、本部担当部署に伝えました。今年度の研修に反映されるものと考えております。
地域連携事業	秋田県 高等学校長協会	地域コミュニティFM局と連携した制度周知活動についていい取組だと思う。次年度も継続して いってほしい。	より広く多数の方々への年金制度周知広報として推進してまいります。
	一般財団法人 秋田県社会保険協会	一般財団法人秋田県社会保険協会主催『社会保険事務説明会』について 「社会保険事務説明会」の夏期と冬期の開催案内は当協会の広報誌の他に、年金機構が発行している「日本年金機構からのお知らせ」への記事掲載によっているところであるが、今後も全ての開催分について、開催案内の記事を掲載いただきたい。	いつもご協力ありがとうございます。すべての開催分について対応させていただきます。
	秋田県地域型 年金委員会	福祉講座、事務説明会について コロナ感染対策を講じて継続していただきたい。 地域コミュニティFM局と連携した制度周知活動について 新たな試みとして評価したい。今後、全県規模での拡充を期待したい。	福祉講座、事務説明会について要請いただきましたら、全県で対応させていただきます。 FM局については、令和2年度中全県規模で実施しております。

3. 前回の会議で出た意見及び課題への対応

質問	委員所属団体	ご意見・ご提案事項	対応状況
○日本年金機構では、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、制度説明会や年金セミナーの開催につなげている状況ですが、制度説明会等を開催する際の、懸念事項等についてお聞かせください。	秋田県 商工会連合会	集合型の説明会では「密」になり易い。Webを活用したオンライン型も検討してはどうか。	現在本部主導ではありますが、Web会議システムを活用したオンライン型を段階的に拡大しております。
	一般財団法人 秋田県社会保険協会	本来はより多くの参集を目指すべきところでしょうが、安全なディスタンスの確保が必要なため、会場の規模に見合った定員制限も必要かと思われる。	ご意見ありがとうございます。
	秋田市市民生活部	感染者発生状況等により、中止や延期せざるを得ないことがあり、会場の確保や変更に苦慮する。	同様な状況であります。
	秋田県 高等学校長協会	感染対策の徹底に尽きる。 参加人数の精査等の配慮が大事だと思われる。	ご意見ありがとうございます。
	秋田県地域型 年金委員会	国と県の「新型コロナウイルス感染症防止対策」に準拠して対応していただきたい。	日本年金機構における新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインは、厚生労働省の同ガイドラインに準じております。
	全国健康保険協会 秋田支部	会場内での感染リスク	対面式の開催の際は、可能な限り新型コロナウイルス感染防止対策を講じます。
	秋田県社会保険 委員会連合会	会場の広さや密の回避などの配慮が必要だと思う。	ご意見ありがとうございます。

3．前回の会議で出た意見及び課題への対応

質問	委員所属団体	ご意見・ご提案事項	対応状況
○コロナ禍において、説明会等を開催する際の年金事務所に対する要望等についてお聞かせください。	秋田県 高等学校長協会	感染対策の徹底に尽きる。参加人数の精査等の配慮が大事だと思われる。	ご意見ありがとうございます。
	秋田市市民生活部	説明の動画教材の提供	本部対応となり、一部対応済みですが、引き続き取り組んでおります。
	全国健康保険協会 秋田支部	広い会場で、出席者の間隔を十分に確保してほしい。	可能な限り会場スペースは広く確保し、出席者の間隔を空けて実施します。
	秋田県社会保険 委員会連合会	定員数を設けた場合は複数回開催（希望者が多い場合）したり、オンラインでの開催を検討するのもよいと思う。	ご意見ありがとうございます。
	秋田県地域型 年金委員会	国と県の「新型コロナウイルス感染症防止対策」に準拠して対応していただきたい。	日本年金機構における新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインは、厚生労働省の同ガイドラインに準じております。
	株式会社 秋田魁新報社	少人数での開催が望ましい。	ご意見ありがとうございます。
	秋田県教育庁	令和3年度は各校においてリモートでの開催が容易になる。新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に関わらず、各校からの要望があればご対応いただけるとありがたい。	各校へはすでにリモート開催についてご案内済みです。可能な限り対応させていただきます。
	秋田県 商工会連合会	検温、消毒、パネル設置等の対策が必要。	日本年金機構における新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインに沿い、可能な限りの対策を行い実施いたします。

3．前回の会議で出た意見及び課題への対応

質問	委員所属団体	ご意見・ご提案事項	対応状況
○Web会議等が主流となっており、各団体のインターネット環境の状況についてお聞かせください。また、Web説明会・セミナーを開催した場合の懸念事項等についてお聞かせください。	秋田県高等学校長協会	現在、Zoomの使用はできない状況にある。今後改善していく予定。	情報提供ありがとうございます。
	秋田市市民生活部	Zoomを活用したりリモート講義が可能。通信状態が不安定になった際のフォロー。	
	全国健康保険協会 秋田支部	Zoom、TeamsでのWeb会議に対応できる。主催者の段取り次第で会の成否が左右される。	
	一般財団法人 秋田県社会保険協会	全国各県の社会保険協会ともWeb説明会等を開催できるようなインターネット環境は整っていない。	
	秋田県社会保険委員会連合会	ほとんどの会員会社はインターネット環境が整っていると思う。 Webセミナーの際は、資料等のダウンロードや事前の配布が必要になると思う。	

3．前回の会議で出た意見及び課題への対応

質問	委員所属団体	ご意見・ご提案事項	対応状況
○Web会議等が主流となっており各団体のインターネット環境の状況についてお聞かせください。 また、Web説明会・セミナーを開催した場合の懸念事項等についてお聞かせください。	秋田県地域型年金委員会	対応なし。	情報提供ありがとうございます。
	株式会社秋田魁新報社	ネット環境は万全であると思う。	
	秋田県教育庁	令和3年4月より、各県立高等学校においては一人一台タブレット端末が整備され、高速大容量のネットワークが構築される。また、各ホームルームの教室には大型提示装置（電子黒板等）も整備される。	
	秋田商工会議所	インターネット接続（Wi-Fi）あり。 各種オンライン会議システム利用可（Zoom、Teams、Webexその他）	
	秋田県年金受給者協会	インターネット環境は整っている。	
	秋田県商工会連合会	ネット環境が参加者に依存してしまうため画質・音声の質が懸念される。（通信不能に陥ることが懸念される）	

3．前回の会議で出た意見及び課題への対応

質問	委員所属団体	ご意見・ご提案事項	対応状況
○予約相談やねんきんネット、エッセイ募集等の周知のため掲示場所をＪＲ各駅や主要郵便局、医療機関に拡大しましたが、今後周知活動を進めるにあたり、地域の皆さんの目に触れる効果的な施設等があればお聞かせください。	秋田市市民生活部	商業施設等	ご意見ありがとうございます。
	全国健康保険協会 秋田支部	Web広告等の活用 金融機関のロビー等	
	秋田県社会保険 委員会連合会	各地域のコミュニティセンター、県庁内県民ホール、各市町村庁舎内ホールやロビーなど。 エッセイ募集に関しては、上記の他に学校への掲示をお願いするなど。	
	秋田県地域型 年金委員会	市町村の行政広報を活用	
	秋田商工会議所	ショッピングセンター、スーパーマーケット、図書館	
	秋田県 年金受給者協会	多くの人が入り出りするコミセンや市民市場のイベントコーナーはよいと思う。	
	秋田県 商工会連合会	大型ショッピングセンター等、人が集まる施設等。	

3．前回の会議で出た意見及び課題への対応

質問	委員所属団体	ご意見・ご提案事項	対応状況
○各事業所における職場内への年金制度の周知方法について効果的な方法があればお聞かせください。	秋田県 高等学校長協会	個人としては、年金振込通知書の見方がよくわからないので簡単説明プリントなどがあれば、職場内の職員に配布し、興味を持って年金に対するようになる人が増えるのではないかと思います。	ご意見ありがとうございます。
	秋田市市民生活部	分かりやすい資料の配布 自由に視聴できる動画の配信	
	全国健康保険協会 秋田支部	年金委員への働きかけ	
	一般財団法人 秋田県社会保険協会	年金委員に限らず社会保険事務の担当者を対象とした研修会・説明会が依然として最も効果的な方法と思われる。	
	秋田県社会保険 委員会連合会	冊子やリーフレットを配布するより、比較的大きなポスターの方が目に付きやすいと思う。	
	株式会社 秋田魁新報社	現状では各職場での開催は控えなければいけないと思う。	
	秋田県 商工会連合会	ポスターの掲示等	

4 . 令和3年度新規取組み事業について

1. 年金ポスターコンクール

事業名	
年金ポスター コンクール	第1回秋田県年金ポスターコンクール実施要項
	1.主 催 日本年金機構秋田県内年金事務所
	2.後 援 ・秋田県教育委員会 ・秋田魁新報社 ・秋田県社会保険労務士会 ・一般財団法人秋田県社会保険協会 ・厚生労働省東北厚生局 ・NHK秋田放送局 ・ABS秋田放送 ・AKT秋田テレビ ・AAB秋田朝日放送 ・全国国民年金基金秋田支部
	3.目 的 県内中学生を対象に、年金をテーマにポスターを作成してもらう中で、公的年金を身近に感じていただき、制度への参加意識を醸成する。
	4.応募資格 秋田県内の中学生
	5.募集方法 秋田県内の中学校に対し、ポスターコンクールの案内文書、チラシを郵送。
	6.募集期間 令和3年6月15日～令和4年1月24日
	7.賞 ・最優秀賞 ... 1点（賞状・記念品） ・優秀賞 ... 3点（賞状・記念品） ・特別賞 東北厚生局長賞 ... 1点（賞状・記念品） ・入選 ... 数点（賞状・記念品）
	8.審 査 秋田県内年金事務所 秋田県年金ポスターコンクール選考委員会
	9.発 表 令和4年3月

